

京都教区時報

第172号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
 編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生淵田町26 Tel 822-7123



教会は必死の努力をしていいるか 利害、体面をこえて一致しよう

松尾昭三(伏見教会)

企業努力に見る 私たちの反省点

文芸春秋8月号に「宗教界は企業努力が足りない」と言う記事がでた。わたしは「大川隆法」とか「幸福の科学」を全然知らなかつたので、どこの宗教も問題点があつて、彼はどんなことを指摘するのかなと興味を感じて早速読んだ。すぐ後、「ナゾの教祖」有名人会員集めてテレビ登場」東京ドームに5万人を集めた光景を目についた。結果は、彼の次々と書いた本がうけて10冊読めば「幸福の科学」の会員となる仕組みで、急激に伸びた集団のように見え、バブル経済の一端を連想しました。

彼の体験からの「宗教界は企業努力が足りない」と言うことは当たってはいないが、でもこの指摘は耳にのこります。

今、経済大国日本と言われながら政治倫理の欠如や日和見の外交政策、大企業の不祥事、証券会社の不正とこのところ醜態続きです。でも企業が生き残るために社会への貢献が必須条件です。全員が一致協力して企業努力をしています。一致協力は絶対的な資本なのです。そのためには社長以下

の企業努力が足りない」ということは、彼はどんなことを指摘するのかなと興味を感じて早速読んだ。すぐ後、「ナゾの教祖」有名人会員集めてテレビ登場」東京ドームに5万人を集めた光景を目についた。

教会は社会に 貢献しているか

キリスト教も最初はユダヤの中から発生し、イエスを教祖とした小さな新興宗教と言えるでしょう。パウロたちの3度の宣教旅行によつて地中海沿岸に大きく広まりましたが、僅かのその期間にも大きくなるに従つて、不満や異論がでてくるのはパウロの書簡で窺うことができます。

使徒たちは大変苦労をしたのち司牧に専念する使徒(祭司)と維持活動の奉仕者とに区別をする位階制へとあゆみ、時代を経るに従つて専ら教義を護るために聖職者中心主義に変化し第2バチカン公會議にまで至つたようです。

全社員は必死で知識を広め共通理解に務め発展へと懸命の努力をしています。また、資産の運用の良否は経営陣の大きな責任です。わたしたち一人一人は勤め人であつたり、自営者であつたりして社会の厳しさを身をもつて経験しています。このような前提をもとに私達の教区信仰共同体を見た場合多くの反省点を見ることができないでしょうか。

キリストによつて派遣された私達の使命は今も変わることのない福音宣教です。

私達の司教は「よりよい福音宣教共同体になるために」と1986年四旬節司教書に「共同司牧」、「適正配置」を教区のビジョン計画として発表されました。

また、1987年わが京都で「開かれた教会づくり」を第1回福音宣教推進全国会議の課題として開かれ、司教団は答申に応えて「ともに喜びをもつて生きよう」と冊子を配つて答えてくださいました。しかしるに5年を経過した現在でも「共同司牧」、「適正配置」が理解されず、あまり推進されていません。ばかりか現状は、ビジョンに逆境するように見えることが放置され、信徒サイドでもあつちこつちで話題になり危機感の高まりを膚に感じます。

5月に開かれた京都教区信徒連絡協議会のテーマに「適正配置」が討議され、その結果を宣教司牧評議会の場に報告してくださいました。その一例が「適正配置」の共通理解がいまだに司祭、信徒を含めてできていないということです。

教会は社会に広く貢献（必要とされる）しなければイエズスに従事する

つてないことを知るべきです。

一人一人の回心（痛みや、苦しみ、貧しさを共にする）によってそれを見直そうとする大変な痛みを伴うペレストロイカの時なのに、自己の安住を内面に固執し、聞いても聞かぬ振りをしたり、問題をすり替えたりしているのを見る現状は、まさに過去の権威に未練を残し、主よ、主よと叫ぶ保守的な偽善者を見るようで企業努力の一片も窺えません。

私達はキリストにおいて一つになることを信条にしている神の民です。福音宣教において一つにならなければ、神からも社会からも存在価値を認められず、キリストを知らない善意の人的一致活動にとを認められる「開かれた教会づくり」、「よりよき福音宣教共同体づくり」をビジョンに「共同司牧」、「適正配置」を行動計画として早く実行に移りたいものです。

「わたしは善い羊飼いである。わたしはわたしの羊を知つており、わたしの羊もまたわたしを知つてゐる」。有能な羊は離散し、殘るの牧者の言行不一致にいらだちを覚えます。

人間としてこの問題の難しさと司教えられてきましたが、頭で分かってもなかなか体に現れないのは、わたしの羊もまたわたしを知つてゐるためにも、大川隆法の「宗教界は企業努力が足りない」の提言になります。教会が宣教機能を失えば樹の中の光、塩氣を失つた

祭の絶対数の不足、教会所在地の適正化、財政の活性化など大変広範囲にわたるもの。

司祭の協調性、信徒に一致を教えるながら司祭の不協和音は信徒を迷わせ、志氣を弱める。

司祭職に招かれている意識の生涯教育などでした。

これらのことを司祭、修道者、信徒が利害、体面を越えて一致して、教会の一人よがりではなく、社会からも世の光となつてゐることを認められる「開かれた教会づくり」、「よりよき福音宣教共同体づくり」をビジョンに「共同司牧」、「適正配置」を行動計画として早く実行に移りたいものです。

「わたしは善い羊飼いである。わたしはわたしの羊を知つており、

来年の司祭・修道士懇親会について(1月4日)
司祭・修道士研修会について
8月21日～23日に行い30名参加しました。(8月24日～26日予定)
司祭の休暇制度について
まだ、意見がだされていません。
司祭の休暇制度について
現在、委員の人選中。

司祭評議会報告(91年9月10日)
司祭評議会報告(91年9月10日)
司祭・修道士研修会について
8月21日～23日に行い30名参加しました。(8月24日～26日予定)
司祭の休暇制度について
まだ、意見がだされていません。
司祭の休暇制度について
現在、委員の人選中。

司祭・修道士研修会について
8月21日～23日に行い30名参加しました。(8月24日～26日予定)
司祭の休暇制度について
まだ、意見がだされていません。
司祭の休暇制度について
現在、委員の人選中。

司祭・修道士研修会について
8月21日～23日に行い30名参加しました。(8月24日～26日予定)
司祭の休暇制度について
まだ、意見がだされていません。
司祭の休暇制度について
現在、委員の人選中。

教会は宣教機能を失わないように

信徒連絡協議会が報告してくださいました。

司祭評議会報告(91年9月10日)
司祭評議会報告(91年9月10日)
司祭・修道士研修会について
8月21日～23日に行い30名参加しました。(8月24日～26日予定)
司祭の休暇制度について
まだ、意見がだされていません。
司祭の休暇制度について
現在、委員の人選中。

宣教司牧評議会より

福音宣教ある

共同体になるために

ここでもう一度、何故、適正配置が問題なのか。(適正配置という言葉が誤解を招き、それこそだわってしまうので、私達の「教会がよりよい福音宣教共同体になるために」と言いかえてもかくその中味を大切にして、取組もうと、再びこの問題にとり組み始めたのでした)そのへんをもう一度、説明し直してみておこうと思います。

まず、司祭の人事の問題、自

分の教会の担当司祭(あえてそう書きます。主任司祭でなく)にみな興味があるわけです。この事はもう説明を必要としないぐらい。ただそこに司祭が老齢化してきます。あと10年したら60才以下の司祭は、邦人司祭でたつた7人、全司祭で15名位でしょう。今60才代の人が70才になり、その神父

様方がさあ何人いられるでしょう。20名?、もつと割るでしよう。

それは病気もせず、帰天もせず、司祭の後継者についていえば、

働くだけ働いていただく事を前提としてのことです。

司祭は誰も生れないでしょう。

今神学生二人。そのあと誰もいな

くなる、という事は5、6年、新司祭は誰も生れないでしょう。

司祭の不足の原因は、司祭達に魅力がない。司祭像が見えない等いろいろ。ともかく、どうしたらよいのか。自分で黙想し合ってみて下さい。

次は教会の老朽化の問題、戦後教会がどんどん建ちました。(こ

れは心から感謝すべきこと)

ところが教会もよる年なみに勝てず、老朽化が進み、あちこちで改築、再建の話が出てくる。自分の属している小教区の建物は、危ない、そこで……という事になる。大きな教会はよいが、所属信徒の少ないところはさあ大変。「自分の家は自分達で」ということで取組みはじめはするが、どうもこれは大変。

次にある一部の人にとって大変

内等に住む人にはわからないけれど、ある人にとってかりに、教会

が毎日曜日行くのに片道一時間半、とお金の浪費(?)になるのでしょうか。

宣教司牧評議会では、そういう

みなさんの呻きみたいなものを聞いて、それなりに話しあって、その呻きをまとめたら、だいたい六つ位にしほれるよう思います。

という事で、時報161号(P2)で報告した様に、具体的な問題として6項目ほどにまとめて、この具体化に取組んでいこうじゃないかと言いました。

でもその取組みをするには、現状をもう一度知る必要があるのですが、いかと、現状調査を、各小教区、司祭、小教区職員諸活動に向けて出しました。

別の方をすれば、「神の国とその義が実現されるために私達はどうしたらよいのですか」という問い合わせが根本にあるのです。

それで、あなたは今の教会の姿に満足ですか。いやむしろこれまでよい、と本当に思っていますか。

何かもつとカイシンしたり、改善したりすることはありますかと問われているのです。

(文責 村上透磨)

の心中にあつた改善への願いから生れてきたことを前提として最も大切にしたい。

私達一人一人が神の国の実現のため福音宣教する様に、主御自身からその使命を受けている。

その使命は個人だけでなく、共同体に向けられている。

キリストによりたてられた共同体は、福音宣教する様に召されており、又福音宣教する共同体になる様、召されている。

ではそのためにはどうしたらよいか、と言うのがこの取組みです。



きようと△しが△なら△みえ

そんな人々の中に、時たま信者さんもあつて「こんな田舎に教会があるとは思つていなかつた!」と、道すがら教会に立ち寄られることが、時々ある。またあらかじめ計画をたてられて教会使用を申し込まれ、1泊ないし2泊なきつて「信仰リクリエーション」をかね、主に夏場に毎年2~3の教会から30名規模以内の人数でみえる。教会は万国共用、すべての人々のものであり、不十分ながらも歓迎、快く泊つて頂くよう、信徒はつ

を願つてゐる。その一助として信徒家庭に教会玄関の鍵を一個ずつもつてもらつてゐる。何時でも聖体訪問の出来る手はずであるが、その利用は少ない。きっとご聖体のうちにまします神さまは、首を長くなさつて今日は誰か、明日は？と待つておられるに違ひない。そう思うと申訳けない思いと一抹のさびしさを思う。

教会は「神の家」で、わたしたち信徒は、わが家と同じように愛し、いつも清浄を保とうとする。

日本人は働き過ぎるといわれる
ようになつてから、もう久しい。
そんなことも影響してか近年、煩
さな都会から空気のよい田舎に向
けて緑を、夏には涼を求め清流に
遊び釣りを楽しむ人々が漸増して
きている。

とめている。このようにして他教会の信者さんが、度々山国教会を訪れてくださることは、本当に嬉しいと思う。



献堂35周年を迎えた いと小さな教会

いと小さな教会

教会建物の乱れや汚れは、端的に信徒の心を具現したものと思うとき、どうあっても常日頃から心の清浄を保ち教会を美しくするよう自然とつとめるであろう。家は美しくするが、教会は放つびらかしでは、眞の信徒とはいえない。割り合いと清掃につとめているので何んとか今日にきている。「綺麗な教会」と誉めてくださるかと思えば、「綺麗ですね……空気は美味しいし、景色が……」と。よい気になつていたら驕よろこびのときもあつた。とにかく、掃除は頑張つてやる教会である。

信徒は現状少なく、ミサは月に2度、これといつて他に活動はできていない。今後に努力と期待をかけたい。教会の活力の源泉は神さまによるが、信徒の使徒的使命による宣教活動の成否と大いにかかる。他宗教の信徒で熱心に宣教活動に頑張られている姿も知つてゐる。他山の石としてその行動力と熱意の点では、大いに学ばねばならないと思うことが、しばしばある。最近、教会近くに都会から信徒家庭が移り住まれ、赤ちゃんも生れて受洗され、千万人の味方がこれまで尊いので、信徒が本当に共同体意識をさらに持てば、た

しかな力になる。
小さな教会ではあるが、希望と志は一人前?この教会が献堂されで丁度、本年で35周年を迎えた。お隣の宇津教会も同じく35周年、お互に小さな教会は力を合わせることの必要から、ともに、ささやかながら田中司教さまをお迎えして35周年記念式典、感謝のミサを、来る11月17日(日)午前11時30分から山国教会で、次の日程により挙げることになった。加えて亀岡、園部、わたしでも2教会の恒例による「口丹四教会合同ミサ」も同時にさきげられる。他教会の支えを頼きながら立派にこの記念式を成功させたいねがいである。教区みなさまのご声援とお祈りを心からおねがいして止まない。

11月17日(日)は
献堂35周年記念ミサ

プログラム

感謝記念二十一

11時30分～12時20分

記念植樹(北山杉)

あいさつ・祝辞

(昼食・休憩)

記念講演

講師 寺尾紹一郎師

憲政・文政
解説(5)

卷之三

ESTATE PLANNING

広島にひつて

リーダー 岡 なおみ

広島は良かったと思います。それを一番感じたのは、中学生が「広島に行つて良かったあ」と言つて

いるのを聞いた時でした。みんな

がこの合宿で喜んでくれていたのが本当にうれしかったです。リーダーができて良かったと思いまし

た。合宿で中学生が一応に感じるのが集団生活の中での友人との出会いのおもしろさだと思います。それを教会ならではのアットホームな雰囲気の中で行えるので楽しそうです。中学生のパワーはすごいもので、私自身きついかなと思う時でも中学生はけつこうたくましくぶつかって手に入れてしま

ります。そしておとなしい子も活発な子も少し怖がついててもちよつとしたかけ声や誘いの言葉でやれちゃう力を持っているみたいですね。私は人は伸びました。

合宿で多くの人と出会い3日間を共にするというは絶対に人生のうちで大きくプラスになると確信しました。ですからぜひ多くの中学生に参加してほしいです。塾よりもクラブよりも貴重な経験が出来ると思います。

♥中学生の言葉(抜粋)♥

「たつた2泊3日でとても心に残った。広島平和体験学習はとても勉強になったと思います。ぼくは初めて行つたので最初は同じ学校の篠田君一人しか知りませんでした。そして電車の中でしゃべった友達もたくさん出来ました。」

「何か3日間いろいろあつたけど社会で教科書にあるより詳しく英語よりもすごい勉強、人間らしい勉強をしたと思う。ぜひ来年も行つてもう一度ほかの考え方ができるといいなと思う。」



(((((おひつ))) あんてな



11月23日はアジア交流の日

「パングラデシュのサイクロン救援について」、私たちの呼びかけに応じてご協力ください、本当にありがとうございました。

お陰をもちまして、8月30日現在で、733万9872円ものカンパが北は北海道から南は九州までの広い地域から集まりました。これらのうち、既に4万ドルを送金し、10月に入れば、すぐにも残りを送る予定にしています。

今回は緊急援助ということで、お願いしてきましたが、既に5ヶ月ほど経ちましたので、一応9月30日をもちまして、サイクロン援助のための募金活動は終了させていただきました。しかし各グループで企画していただいていたことがあります。しかし活動などにつきましては全面的に支援・協力させていただきます。

また、今回の教訓として、世界の中で緊急に援助が必要なときにはいつでもそれに応えることができるよう郵便振替(京都4-71850)はそのままにして、募金活動を続けることにしました。今後ともご協力のほどよろしくお願ひいたします。

世界では、ソビエト連邦の解体、ECCの統合と、民族、国民の平等という大きな流れが進行しているように感じられます。これも、神様の御旨いますが、そのような流れの中にあって身近なアジアの人たちとの交流、連帯は私たちにとって、これからよいよ必要になつていくのではないでしょうか。

人間をわけへだなく愛されたキリストに倣つて、まず身近なアジアから、そんな願いを込めて11月23日のアジア交流の日を迎え、私たちも皆様とともにアジアに思いを馳せたいと思います。

1992年2月か3月
パングラデシユ訪問を計画中

▼関心ある方ご連絡下さい
福音センター田中まで(075-822-7123)

お知らせ

教区スケジュール

10月	
6日(日)	結婚相談室開設 〔河原町カトリック会館6F PM1時30分～〕
10日	都の元和殉教者記念ミサ 〔河原町教会AM10時30分～〕
19日	聖ビンセント・デ・パウラ会設施訪問 部落問題委員会学習会 〔河原町カトリック会館〕
20日	部落問題委員会学習会 〔河原町カトリック会館〕
21日	余良ブロック合同堅信式 〔ヴィアトール祭・創立記念日〕
27日	子羊会例会(高野教会) 〔河原町カトリック会館〕
27日	亀岡教会堅信式 〔河原町カトリック会館〕
28日	長岡カトリック幼稚園25周年 〔河原町カトリック会館6F PM1時30分～〕
29日	青年センター運営委員会 〔河原町カトリック会館〕
30日	聖ビンセント・デ・パウラ会設施訪問 〔河原町教会AM10時30分～〕
31日	青年センター運営委員会 〔河原町カトリック会館〕

参加者募集中 第86回

日時 11月22日(金)～24日

場所 野外礼拝センター

申込先 カトリックきょうと福音センター
※ 075(822)7123

京都ウォーカソン
唐崎カトリック幼稚園20周年
司祭評議会
10日(日)希望の家バザー(AM9時～PM3時)
正平協学習会(全国大会報告)

みことばを書こう書道・絵画展
11月22日(金)～12月2日(月)
西院カトリック会館大ホール
※みなさんの作品、待っています

希望の家バザー
11月10日(日)
ごぜん9時～ごご3時
▶古着整理ボランティア募集中
水・木曜に来てくださる方
(他の曜日でもご相談にのります)
▶日用品(石けん・タオル・シーツ)・食料品集めています
▶連絡先 希望の家
☎075(691)5615 Sr沖まで

17日(日)教区一斉京都教区創立
記念ミサ
23日(祝)琵琶湖ウォーカソン
24日(日)山科教会默想会
29日(土)30日河原町教会默想会
30日(日)青年センター運営委員会
17日(日)教区一斉京都教区創立
記念ミサ

▼ みんなご協力お願いします

第9回 南信協婦人部バザー
長崎・島原地方の被災者への義援金
のために

日時 10月20日(日)12時～15時
場所 河原町カトリック教会

▼ 聖書深読のご案内

日時 11月2日(日)～4日

場所 宇治カルメル会默想の家
指導 奥村一郎師(カルメル会)
費用 10,000円
定員 26名

▼ 申込み先 ☎0775(65)8920
前田まで(PM8時～10時)

信徒使徒職養成シリーズ4
新刊
ただ今発売中

病人司牧のために
松本三朗・寺本松野著
一部 400円

発行(申込先) カトリックきょうと福音センター
〒604 京都市中京区壬生淵田町26
西院カトリック会館内
☎ 075(822)7123
FAX 075(822)7020

よれよれは誰でしょう。
(M-T)

深窓に眠れる牛を引き出せし
君の思いは何撻にあるさ。
司教様に抗議しているのではありません。ただこの「よれよれ」をどう使いになるのでしよう。この



▼召命默想会
テーマ 祈りと働き

日時 11月8日(金)～10日(日)

場所 善きサマリア人修道会奈良修道院

対象 未婚の女性(求道者可)

指導 養成担当シスター

持展品 聖書、エプロン、運動靴、洗面道具

会費 3,000円

▼申込み11月2日(日)までに☎かハガキで

▼領 奈良市法蓮町746 善きサマリア人修道会
会員登録
☎ 0774-222-6160 Sr押本まで